KYOEI、印社と連携

車部品検査治具　現地で新規開拓

【横浜】KYOEI（神奈川県綾瀬市、高崎将二社長、0467・76・1118）は、インド自動車部品検査治具メーカーのTara Tools（タラツール）を技術支援し現地で新規顧客開拓に乗り出す。タラツールがインドで受注した検査治具の案件についてKYOEIが生産効率化や品質向上を支援。タラツールから報酬を受け取るほか、日系以外の自動車部品メーカーとも取引を広げ、初年度に売上高1000万円、5年後には年間で同2000万―3000万円を目指す。

KYOEIは自動車部品向け検査治具を手がける。連携に当たり幹部クラス1、2人を派遣し、一定期間滞在して技術指導する。同社が日本自動車メーカーとの取引で培った知見やノウハウを注入し、タラツールの納期短縮やリードタイム削減、生産プロセスの効率化などを支援する。当初は3―5事業を支援する予定。

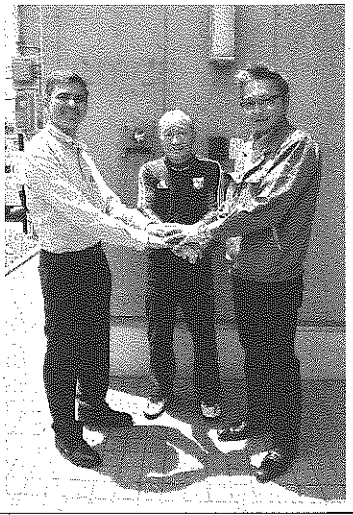
部品検査治具は一品一様で完成までに時間を要し、タラツールの納期は「（KYOEIより）3倍程長い」（高崎社長）と開きがある。タラツールのマンカー社長は「インドでは日本基準や高品質の企業が求められている。連携の意味は大きい」と話す。

KYOEIはタラツールを通じて日系メーカーの検査治具のメンテナンスや修理なども支援するほか、海外顧客の新規開拓を狙う。

「自動車業界の地図で見ると今後の生産の中心はインド。インドに連携企業や拠点があることが重要」（高崎社長）とみる。

タラツールは、KYOEIが中心となって運営する複数社の自動車部品検査治具メーカーが受発注で連携するネットワーク「検具net」にも加入する。

このたびの連携は商社の東西サムテル（川崎市麻生区）が仲介した。KYOEIは、プレスなどで製造された自動車部品を治具の凹凸に合わせることで部品の寸法や厚さを即座に計測できる技術などに強みを持つ。



握手を交わす高崎社長㊨

新型「LS」日本初披露

トヨタ　操舵回避支援など搭載

トヨタ自動車は26日、今秋に全面改良して発売する高級車ブランド「レクサス」の旗艦セダン「LS＝写真」を日本で初披露して、日本と北米、欧州で導入する。

2006年以来11年ぶりの全面改良となる新型LSは、1月から止に役立つアクティブ操舵回避支援のほか、歩行者注意喚起の機能などを付けた。

トヨタの社内カンパニー、レクサスインターナショナルでプレジデントを務める澤良宏常務役員は「高度運転技術に代表される最先

「RS5クーペ」全面改良

4.2ℓ最高出力450馬力

アウディ

アウディジャパン（東京都品川区、斎藤徹社長、03・5475・6309）は、高級クーペ「A5シリーズ」のトップモデル「RS5クーペ」を全面改良して受注を始めた。発売は9月下旬の予定。エンジンは新開発の4・2リッターV6型気筒ツインターボを採用。最高出力450馬力を実現した。消費税込みの価格は1257万円。

全面改良したRS5クーペは、アウディ独自の燃焼方式「Bサイクル」を採用したことで、の新法（で当たり時速までの加速9秒。最高

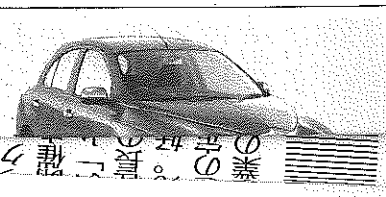
▲全面注をウデ5ク

年産能力拡大4倍

豊田合成、20年度までに

【名古屋】豊田合成は樹脂製燃料導管10万本に引き上げる。6億円を投押出成形機産設備を増フューエパイプは給ンクまで続

ビュートなど特別仕様設定

光岡自

光岡自動車（富山市、光岡章夫社長、076・494・1500）は、主力小型車「ビュート」とセダン「リューギ」に、特別仕様車「モダン」を設定して発売した。三つの専用車体色と、モダンな雰囲気の内装を施した。消費税込みの価格はビュー（写真）が主800円かギモダンが